

## 地域づくり活動 NPO 事業助成

### もったいないをみんなで笑顔へ（フードシェアリング事業）

認定 NPO 法人宝塚 NPO センター

#### 1. 事業が目指すところ（事業の目的・社会課題）

貧困問題や各家庭の食品余剰問題、企業の食品破棄などの社会問題に対し、地域とのつながりを活かした食料支援事業を行うことで、生活に困窮している方々がこの事業を通して生活を再興するための一歩としていただけるような状況を作り出し、また地域の方々にもこの活動を広め、社会課題を共有し、地域全体で困っている方々を支える仕組みをつくりつつ持続可能な活動にしていくことを目指す。

#### 2. 活動内容（以下の内容で食品回収と配布会 4 回を開催）

	食品回収		配布会（配布会場所：宝塚市立男女共同参画センターエル）			
	回収期間	回収量	開催日	参加人数		ボランティア参加者数
1	6/1～6/22	143kg	6/28	28 名	相談件数 0 件	市民ボランティア 3 名 若者ボランティア 9 名
2	8/1～8/31	117.9kg	9/4 (2 回開催)	52 名	相談件数 3 件	市民ボランティア 8 名 若者ボランティア(子ども含) 9 名
3	10/1～10/31	236.5kg	11/2	58 名	うち相談件数 2 件	市民ボランティア 8 名 若者ボランティア 7 名
4	12/1～12/20	218.1kg	12/25	41 名	うち相談件数 1 件	市民ボランティア 9 名 若者ボランティア 4 名

【その他/食品提供】①おでん 980 個 ②業務用ベーコン 20 袋 ③パン 毎週 1 回提供有（11 月～）

#### 3. 成果と課題

##### ＜成果＞

食品の回収、配布会を多くの方に周知することができた。また、大手企業様（カネテツデリカフーズ㈱・一般財団法人 H20 サンタ・三井住友海上火災保険㈱）とも繋がることができたことから、多様な食品を頂き、複数のこども食堂に配る本来の中間支援が担うべきハブ機能としての役割を果たすことができた。

また市民ボランティアを募集した所、9 名の方が私たちの活動に興味を持ち、参加された。こども食堂を運営している 2 団体がフードシェアリング活動に興味をもち見学に来られ、実際にボランティアとして参加することでノウハウを学ばれた。このように、地域の方々にも様々な方法で困った方々を支える事が出来る仕組みを伝えることが出来てきている。

##### ＜課題＞

この活動も地域に定着しつつあり、企業とも繋がることができたことから、事業の広がりができてきた。今後は地域の方々为主体で運営をしていき、持続可能な活動にすることが今後の課題であると考えている。

#### 4. 今後の展望

引き続き、自治会やまちづくり協議会、地縁団体等へこの活動を周知し、地域の方々が行えるような仕組みを定着させることができるよう、実際に活動される方や団体のサポートをしていきたい。また、持続可能な活動にするために企業との繋がりを大切にしながら広げていきたいと考えている。

